



## 梅雨時期の浴室カビ対策！入浴後の4つの習慣と対処法

湿気の多い梅雨の季節になると、気になるのが浴室のカビです。一度発生してしまうと除去が大変なカビですが、日々のちょっとした工夫で予防することができます。今回は、毎日の入浴後にできる簡単なカビ対策と、万が一発生してしまった場合の対処法をご紹介します。手間をかけずに清潔な浴室を維持して、快適なバスタイムを過ごしましょう。

### カビを防ぐ効果的なひと工夫

カビは「20～40℃の温度」「70%以上の湿度」「栄養分(皮脂・皮膚のカスなどの有機質の汚れ)」の3つがそろって増え始めます。そのため、これらの条件をなるべく減らすことが重要になります。

毎日のお風呂上がりに簡単にできる工夫をご紹介します。

#### 1. 壁・床・浴槽を冷水シャワーで洗い流す

浴室の温度を素早く下げて、石けん・シャンプー類の泡や皮脂・垢などの汚れを洗い流します。お湯のシャワーでは温度が下がりにくくなるため、冷水を使うのがポイントです。

#### 2. 水分がたまりやすい場所をふき取る

浴槽の角、壁と床の境目、蛇口まわりなど、水分がたまりやすい場所をサッとふき取ります。これらの場所は乾きにくく、水分が残るとカビの原因になるためです。吸水クロスを使うと作業が楽になります。壁やドアなどの平らな部分についた水滴は、水切りワイパーで取り除くのがおすすめです。

#### 3. 浴槽の湯は熱いうちに抜く

冷めてから抜くと浴室の湿度が下がりにくくなってしまいます。また、お湯をためっぱなしにして何度も沸かし直して入ると、浴室の湿度が常に高い状態になってしまいます。しっかりとフタをするか、毎日お湯を抜くようにしましょう。

#### 4. 換気扇や浴室乾燥機をしっかりと回す

換気扇しかない浴室では、24時間つけっぱなしで運転するのがおすすめです。浴室乾燥機がある浴室では、全体が乾燥するまで運転を続けましょう。

### それでもカビが発生してしまったときは

浴室全体をしっかりと掃除してから、以下の対策を試してみましょう。

#### 1. カビ取りスプレー(塩素系漂白剤など)で発生したカビを取り除く

#### 2. 防カビくん煙剤やバイオ系防カビ剤でカビの再発生を防ぐ

その上で最初にご紹介した「カビを増やさないひと工夫」を実践し続ければ、カビが生えにくい浴室になります。日々の工夫とお掃除で、お風呂のカビをしっかりと防いでいきましょう。



全国に広がる家づくりネットワーク

# INOS

イノスグループ



## 株式会社 創建

# ☎0564-62-7700

